

令和2年度 次世代ボランティア人材育成事業
 2020ちばおもてなし隊ビルドアップステージ
 -中高生のボランティア活動を確かなレガシーに-

事業報告書



千葉県

特定非営利活動法人 生涯学習応援団ちば

令和2年度次世代ボランティア人材育成事業
2020ちばおもてなし隊ビルドアップステージ
～中高生のボランティア活動を確かなレガシーに～

目 次

はじめに	1
千葉県環境生活部県民生活・文化課	
I 事業の目的	2
II 事業実施項目	2
III 事業実施結果	3
IV 2020ちばおもてなし隊ビルドアップステージの推進	15
V 活動の様子	17
VI 今年度事業を振り返って	20
VII 資料・参加者の声	23

はじめに

千葉県環境生活部 県民生活・文化課

千葉県では、県民の皆様があたりまえのようにボランティアに参加していただけることを目的として、地域コミュニティを支える人材づくりするため「次世代ボランティア人材育成事業」を実施しています。

この「次世代ボランティア人材育成事業」は、次世代を担う若者に地域のボランティア活動などに参加いただき、今後のボランティア人材となつていただくことを狙いとした事業として、平成30年度から民間団体等の企画提案により実施しています。

令和2年度においては、特定非営利活動法人生涯学習応援団ちばから提案いただいた事業「2020ちばおもてなし隊 ビルドアップステージ ～中高生のボランティア活動を確かなレガシーへ～」を採択し、東京2020大会に向けたボランティア、おもてなし機運の醸成等を図る、「おもてなし動画アワード2020」などの事業を実施してまいりました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、すべてのイベントをオンラインに切り替えるなど、手さぐりの一年でありましたが、オンラインという新たな試みのなかでも、多くの若者にご参加いただき、主催者としても千葉県全体で、ボランティア・おもてなしの輪の広がっていくことを期待しております。

いよいよ、東京2020大会も目前となりました。

若者の皆様にはこの事業をきっかけに、おもてなし活動やボランティアで、今後活躍していただくとともに、県も活躍の場を広げていきたいと考えております。

令和2年度次世代ボランティア人材育成事業 「2020ちばおもてなし隊ビルドアップステージ ～中高生のボランティア活動を確かなレガシーに～」の実施結果

I 事業の目的

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催が2021年になることが見込まれる中、本事業ではこれまでの2020ちばおもてなし隊で中学生・高校生・大学生が提案し、実践してきたおもてなし活動の成果を集約するとともに、新たなおもてなし活動を提案して頂くこと等を通じ、日本と千葉県を訪れる海外からの選手やお客様を対象にしたおもてなし活動の準備を進め、若い世代のボランティア活動に対する参加機運醸成と人材育成を図ることとした。

なお、事業推進に当たっては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点も踏まえつつ、SNSを最大限活用した情報発信やコミュニケーションの充実に努めた。

II 事業実施項目

上記Iの業務目的を達成するため以下の事業を計画した。

- 1 世界からのお客様を迎える準備を進めよう
 - (1) オンラインでワークショップ!「わたしたちのおもてなし」の実施
 - (2) おもてなし動画アワード2020の開催
- 2 2020ちばおもてなし隊の提案の実現と活用
 - (1) 地震パンフレット
 - (2) やさしい日本語でコミュニケーション
 - (3) 日本文化体験
- 3 ボランティア・おもてなし情報発信の充実
 - (1) 「おもてなし隊広場」の参加者の拡大と内容の拡充
 - (2) 情報発信・情報活用の多様化・高度化のための検討の推進
 - (3) 「おもてなし隊広場」募集パンフレットの改訂・印刷
- 4 フォーラムの開催

III 事業実施結果

1 世界からのお客様を迎える準備を進めよう

本事業では、大会参加選手や成田空港から日本を訪れる海外からのお客様を千葉らしい「おもてなし」の心で歓迎するための準備として、2020ちばおもてなし隊企画運営委員会を構成する千葉県スポーツコンシェルジュ及び学生団体おりがみと連携して、以下の事業を実施した。

(1) オンラインでワークショップ！「わたしたちのおもてなし」の実施

2021年に開催されるオリンピック・パラリンピックが、新しい生活様式・withコロナの中でのおもてなしになること、また海外からの選手・ゲストを迎えるのも、今までどおりとはいかないとの認識のもと、若い皆さんがオンラインで集い、2021年に行う“新しいおもてなし”や“新しい歓迎イベント”を共に考えて、実現することを目指した。

なお、本事業実施のため、以下の点に留意し取組を進めた。

1) オリンピック・パラリンピックでのホストタウン登録自治体の参加依頼

松戸市、成田市及び浦安市のオリンピック・パラリンピック担当課に参加いただいた。

ワークショップ前に、各自治体でのオリンピック・パラリンピックに向けた取組のインタビューを収録し、ワークショップ参加者に事前に各自治体の取組の情報を提供した。

2) スタッフ希望者の募集

事業への参加意欲の向上を目指して、ワークショップ参加者からスタッフ希望者を募った。その結果参加申込み24組のうち、7人からスタッフとしての参加希望があった。

令和2年10月30日（金）には、スタッフ希望者、学生団体おりがみメンバーなどとオンラインで事前ミーティングを実施し、スタッフ同士の顔合わせを行い、役割分担などについて協議した。

事業概要

【事業名】 オンラインでワークショップ！「わたしたちのおもてなし」

【メインテーマ】 ○withコロナでの“新しいおもてなし”

○多様な人々を思っておもてなしを考えよう

【参加資格】 千葉県に在住・在学する本年度13歳から22歳になる方

【実施方法】 オンラインで開催（Zoom）

開催日時・プログラム

オンラインによるワークショップは、初めての試みであり、より多くの皆さんの参加機会を確保するため、2回開催することとした。また、事前学習として、関係動画を事前に視聴することで、共通認識のもと、ワークショップに参加できるよう配慮した。

【事前学習】 ワークショップでの話し合いに役立てるため、以下のような自治体からのメッセージ、企画づくり講座などの動画を作成し、YouTubeを利用して視聴できるようにした。

この動画は、令和2年11月1日から視聴できるようにした。

- ①東京2020オリンピック・パラリンピックでのボランティア(千葉県から)
- ②オリンピック・パラリンピックに向けた松戸市の取組紹介
- ③オリンピック・パラリンピックに向けた成田市の取組紹介

- ④オリンピック・パラリンピックに向けた浦安市の取組紹介
- ⑤おもてなし案作成方法について（学生団体おりがみによる企画づくり講座）
- ⑥おもてなしアイデアの紹介（おもてなし動画アワード応募作品、大学生からのアイデアなど）

あわせて、参加当日までに「オンライン(非接触型)でのおもてなしと、オフライン(接触型)でのおもてなしのメリットやデメリット」について考えてくるようお願いをした。

【ワークショップ第1回目】

- 開催日時 令和2年11月8日（日）18時～
- 第1回目テーマ「オンラインでのおもてなしを考えよう」

《実施内容》

- 当日のプログラム 進行：学生団体おりがみ

①Zoomの接続テスト

Zoomが初めてで、接続に不安がある方を対象に接続テストを実施

②開始前イベントとして動画の視聴

開会前の時間を利用して、参加者に「おもてなし案の作成方法」及び「おもてなしアイデアの紹介」動画を視聴してもらうようにした。

③開会

あいさつ・ワークショップの流れ説明。

ゴールボール女子日本代表選手からワークショップ参加者へのメッセージビデオを紹介。

④全体会

進行から「おもてなし案の作成の要点」を説明。

参加者に事前に考えてきてもらった「オンライン(非接触型)でのおもてなしと、オフライン(接触型)でのおもてなしのメリットやデメリット」について、意見交換を実施。

⑤グループワーク「オンラインのおもてなしを考えよう」

Zoomのブレイクアウトルームの機能を利用して、参加者を3つの班に分け、各班の中で自己紹介や簡単なアイスブレイクを行った。

その後、各班でテーマに基づき、アイデアを検討。

いずれの班も「ファシリテーター」、「記録係」は主としてスタッフ希望の参加者が担当し、学生団体おりがみのメンバーはサポート役を中心に担当した。

⑥まとめの会

各班の記録係（又はファシリテーター）が、グループでまとめたアイデアの概要について発表。

1班「オールスキルズマップ」

2班「選手に・観光客に・世界中に動画でおもてなし」

3班「高校の日常生活を動画に！」

*詳細は24ページに掲載しました。

各班からの発表終了後、参加いただいた自治体（松戸市、成田市、浦安市の皆さん）、主催者である千葉県及び2020ちばおもてなし隊企画運営委員会からこの日提案のあったアイデアについてコメントを頂いた。

最後に、ワークショップにメッセージを寄せていただいたゴールボール女子日本代表選手へ

の参加者全員によるお礼のメッセージを録画して終了した。

《参加者》

- 参加総数 27名
- 中学生 1名 高校生 12名 大学生年代 2名 学生団体おりがみ 4名
- 自治体の皆さん 3名 千葉県 2名 2020ちばおもてなし隊 3名

【ワークショップ第2回目】

- 開催日時 令和2年11月14日(土) 16時～
- 第2回目テーマ「オフラインでのおもてなしを考えよう」

《実施内容》

- 当日のプログラム 進行：学生団体おりがみ

①Zoomの接続テスト

Zoomが初めてで、接続に不安がある方を対象に接続テストを実施

②開始前イベントとして動画の視聴

開会前の時間を利用して、参加者に「おもてなし案の作成方法」及び「おもてなしアイデアの紹介」動画を視聴してもらうようにした。

③開会

あいさつ・ワークショップの流れ説明。

ゴールボール女子日本代表選手によるワークショップ参加者へのメッセージビデオを紹介。

④全体会

進行から「おもてなし案の作成の要点」を説明。

参加者に事前に考えてきてもらった「オンライン(非接触型)でのおもてなしと、オフライン(接触型)でのおもてなしのメリットやデメリット」について、意見交換を実施。

⑤グループワーク「オフラインのおもてなしを考えよう」

Zoomのブレイクアウトルームの機能を利用して、参加者を2つの班に分け、各班の中で自己紹介や簡単なアイスブレイクを行った。

その後、各班でテーマに基づき、アイデアを検討。

いずれの班も「ファシリテーター」、「記録係」はスタッフ希望の参加者と、学生団体おりがみのメンバーが手分けをして担当した。

⑥まとめの会

各班の記録係(又はファシリテーター)が、グループでまとめたアイデアの概要について発表。

1班「J Kから学ぶ日本の文化」

2班「思いをつなげる扇子」

*詳細は25ページに掲載しました。

各班からの発表終了後、参加いただいた自治体(松戸市、成田市、浦安市の皆さん)、主催者である千葉県及び2020ちばおもてなし隊企画運営委員会からこの日提案されたアイデアについてのコメントを頂いた。

最後に、ワークショップにメッセージを寄せていただいたゴールボール女子日本代表選手への参加者全員によるお礼のメッセージを録画して終了した。

《参加者》

参加総数 17名

高校生 5名 ボランティア部顧問 1名 学生団体おりがみ 3名

自治体の皆さん 3名 千葉県 2名 2020ちばおもてなし隊 3名

(2) おもてなし動画アワード2020の開催

若い世代から千葉を盛り上げ、1年後となった東京2020大会で、国内外からのゲストをより良いおもてなしで迎えらるる準備を進めるために、新しい生活様式が求められる今だからできる「動画」によるコンテストを開催した。

事業概要

【事業名】 おもてなし動画アワード2020 ～わたしたちの「おもてなし」～

【テーマ】 千葉の魅力・千葉ならではのおもてなし

【募集部門】 1) わたしたちの「おもてなしビジョン」《1秒～90秒以内》

オリンピック・パラリンピック開催時に、こんなおもてなしをしてみたい、こんな風にもてなしやゲストを迎えたいというアイデアを動画で募集

2) わたしの好きなちばの自慢! 《1秒～3分以内》

地域をテーマに、地域ならではの自慢のおもてなしや、地域の魅力・文化の紹介動画を募集

3) 特別編「がんばれ!ちばへのエール」《1秒～90秒以内》

災害や感染症など負けずに頑張る千葉への応援メッセージを動画で募集

【応募資格】 県内に在住・在学し、1998年(平成10年)4月2日から2008年(平成20年)4月1日に生まれた方

【応募方法】 ①「おもてなし隊広場」LINE公式アカウントからの応募

②メールによる応募

③ファイル転送サービス(Bizストレージ ファイルシェア)による応募

【スケジュール】

令和2年8月～12月 作品募集

令和3年1月 審査会などで優秀作品等の選考

令和3年2月 表彰式及び優秀作品・アイデアを紹介

作品の応募状況

作品募集期間中の部門ごとの応募状況は以下のとおりであった。

○部門(1) わたしたちの「おもてなしビジョン」

応募作品数 11作品

内訳:中学生 1作品 高校生 7作品 大学生 2作品

○部門(2) わたしの好きなちばの自慢!

応募作品数 13作品

内訳:中学生 2作品 高校生 10作品 その他 1作品

○部門(3) 特別編「がんばれ!ちばへのエール」

応募作品数 4作品

内訳:中学生 2作品 高校生 1作品 大学生 1作品

応募方法別の応募状況は次の通りであった。

- 「おもてなし隊広場」のLINE公式アカウントからの応募……19作品
- メールによる応募……6作品
- ファイル転送サービス利用による応募……3作品

審査会による審査

応募作品のうち、部門（1）及び（2）の審査は以下の方法により実施した。

【審査基準】 部門（1）わたしたちの「おもてなしビジョン」

- アイデアの独創性……独創的なアイデアとなっているか
- アイデアとしての魅力……取り組んでみたいアイデアか
- 実現可能性……中学生、高校生の年代の方が取組可能か

部門（2）わたしの好きなちばの自慢！

- テーマ性……千葉の魅力や、千葉への思いなどをアピールする力のある作品となっているか
- 独創性……オリジナリティのある作品となっているか
- 構成力……ストーリー性があり、バランスの取れた作品となっているか

【審査員】 *敬称略

- 審査員長 明石 要一（千葉敬愛短期大学学長）
- 審査員 矢嶋 真（元高等学校放送部顧問）
- 審査員 Saruya Nadezda（サルヤ ナディヤ 千葉県ゆかりの外国人 ロシア出身）
- 審査員 劉 微墨（リュウ チボク 千葉県ゆかりの外国人 中国出身）
- 審査員 今井 典史（千葉県環境生活部 県民生活・文化課 副課長）

【審査方法】 審査は、「事前審査」及び「審査会」での審査により行った。

なお、部門（1）については、おもてなし隊広場の参加者による「お気に入り」の投票を実施し、その結果も加味することとした。

《事前審査》

実施期間：令和3年1月15日～1月25日

実施方法：部門（1）及び（2）の全作品を、YouTube（限定公開）にアップし、審査員はその動画を視聴して、上記審査基準に基づき採点をした。

事前審査と同時期に、部門（1）のお気に入り投票をおもてなし隊広場の中で実施し、その結果、「暁の星」グループ、中島悠斗さん及び遠藤なゆさんの作品が上位となった。

《審査会》

開催日時：令和3年1月31日 13時～ オンラインで開催（Zoomを利用）

審査方法

- 部門（1）では、審査員の事前審査で得点の高かった5作品について、各審査員からコメントを頂き、審査員の得点に、おもてなし隊広場の投票結果を加味して上位5作品を「グッドアイデア賞」とすることを決定した。
- 部門（2）では、審査員の事前審査で得点の高かった6作品について、各審査員からコメントを頂き、得点の最も高かった作品を「最優秀賞」、その他5作品について「優秀作品賞」とした。その後、「審査員特別賞」について協議をし、1作品を決定した。

なお、この部門の作品上位3作品については、「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞に推薦する作品となった。

【各賞について】

- 部門 (1) わたしたちの「おもてなしビジョン」

《グッドアイデア賞》

- 「暁の星」の皆さん
- 遠藤 なゆさん
- 千葉県立船橋北高等学校家庭科部の皆さん
- 前島 万葉さん
- 中島 悠斗さん

- 部門 (2) わたしの好きなちばの自慢！

《最優秀賞》

- 佐藤 初羽さん 「千葉県の魅力」

《優秀作品賞》

- 長谷川 拓海さん 「九十九里浜」
- 渡邊 心斗さん 「千葉県PV」
- 市原中央高等学校放送委員会の皆さん「NEW CHIBA」
- 小口 詩織さん 「松戸の素晴らしき公園」
- 「天才ぼくちゃん」の皆さん「紹介PR in 香取神社」

《審査員特別賞》

- 千葉県立東金特別支援学校中学部2年3組の皆さん「選手の皆さんに千葉の魅力を伝えよう」

【作品の取扱いについて】

部門 (1)、(2) の受賞作品については、今後千葉県のホームページ、2020ちばおもてなし隊のホームページなどを通じて多くの皆さんに見ていただく。

部門 (3) については千葉県のSNS（チーバくんのツイッター）などを通じて多くの皆さんに見ていただく。

【表彰式】

開催日時 令和3年2月21日（日）14時～

フォーラム「みんなで作る『わたしたちのおもてなし』」の中で実施

開催方法 オンラインで開催（Zoomを利用）

参加者 受賞者5組・9人 その他の参加者89人（スタッフ等を含む）

実施概要 ①各賞発表

②賞状授与

オンライン開催のため、審査員長が賞状を読み上げ、表彰式終了後に受賞者に賞状と副賞を送付。

③審査員講評

④受賞作品紹介・インタビュー

受賞者が5人参加し、それぞれの参加者の作品を視聴、その後インタビューを行った。

2 2020ちばおもてなし隊の提案の実現と活用

(1) 「地震パンフレット」及び「やさしい日本語でコミュニケーション」シートの印刷・活用

1) 地震パンフレットについて

本パンフレットについては、既に英語版が完成しているため、増刷し、関係方面に配架・配布をお願いすることとしている。

【配布先・案】 ちば国際コンベンションビューロー、ホストタウン登録自治体
都市ボランティア及び都市ボランティア体験プログラム参加の皆さん

2) やさしい日本語でコミュニケーション シート版の印刷・活用について

日本を訪れる観光客などが、困ったときや食事、移動などの際に必要な最低限の16の言葉については、前年度に松尾高校の生徒の皆さんが選択をし、多言語のシート版の原稿もあることから、印刷を進め、地震パンフレットと同様の配布を行う。

(2) 「太巻き寿司でおもてなし」の普及・活用

2020ちばおもてなし隊のこれまでの活動の中で、「太巻き祭り寿司でおもてなし」を提案し進めてきた学生が、「太巻き祭り寿司」によるおもてなしの提案をアピールする動画を作成し、おもてなし動画アワードに応募した。

当面、この動画を活用しながら、おもてなし隊広場などでも紹介し、普及に努めていく。

また、この動画に加え、過去のおもてなし隊での活動実績などを載せた動画も今後作成予定であり、一層の普及促進に努めることとする。

3 ボランティア・おもてなし情報発信の充実

高校生を対象に、SNSを活用してボランティア活動やおもてなし活動の情報の発信に加え、高校生がボランティア活動の提案や、意見交換などを行うため、以下のような取組を進めた。

(1) 「おもてなし隊広場」の参加者の拡大と内容の拡充

参加者

広場への参加者（友だち追加した数）は、年度当初45人（うちブロック数14）であったが、その後「都市ボランティア体験プログラム」参加者や各種イベントでの呼びかけなどを行った結果、令和3年2月25日現在、友だち追加数は246人（うちブロック数83）である。

内 容

- 今年度、2月末までに発信したメッセージは87通（平均して1週間当たり1～2通）であった。
- 情報発信の主なものは、おもてなし隊のイベントに関する情報提供が主なものであった。
- 学生団体おりがみのメンバーを投稿の権限を持つ管理者とし、イベントの際には大学生からの呼びかけなども行うようにした。
- おもてなし動画アワードに作品募集では、大学生がサンプル動画を作成・配信し、また、ワークショップではおもてなしの企画案作りの動画を作成して配信するなどの工夫をした。
- おもてなし動画アワードでは、作品の応募の際、広場のチャットの機能を利用して作品の投稿などを行え

るようにした。その結果、全体で28作品のうち19作品が、広場を通じての投稿であった。

- ワークショップや、フォーラムなどのイベントの際には広場からもスタッフの募集を行った。
- ワークショップ参加者を対象におりがみの大学生と広場参加者がオンラインミーティングで交流を行う機会なども提供した。

(2) 「おもてなし隊広場」募集パンフレットの改訂・印刷

おもてなし隊広場への参加促進のため、主に以下の点を改訂し、印刷した。

- 参加対象をこれまでは主に中学生・高校生としていたが、対象を中学生・高校生・大学生に拡大した。
- おもてなし隊広場で募集したスタッフが参加したイベントの写真を掲載することで、参加意欲の喚起を図った。
- スタッフ募集への応募方法など、広場参加者が広場で行う各種イベントへのアクセスをしやすくする表現を加えた。

(3) 情報発信・情報活用の多様化・高度化のための検討の推進

本件については、現在のおもてなし隊広場の機能を高め、「広場」の名にふさわしい交流の場、双方のコミュニケーションの場を目指すことを大きな目標に検討をすることとした。

このため、令和2年10月以降、学生団体おりがみメンバーや、SNSに慣れ親しんでいる若者、学校教育の場でのITC化に取り組んでいるシステムエンジニアなどから個別に意見を伺うなどして、方向性の検討を進めた。

あわせて、現在のおもてなし隊広場の活用状況を整理するとともに、若者たちがコミュニケーションツールとして主にどのようなものを使っているのか、使い方はどのようになっているのかなどについても総務省の調査などを踏まえ整理した。

検討に際しては、おもてなし隊広場を一步進めた交流の場の意味を込めて「ちばボランティア広場（仮称）」（以下「ちばボラ広場」と表記します。）と名付けて検討を進めた。

「ちばボラ広場」については、以下のように整理した。

- 「ちばボラ広場」は、千葉の若者たちを対象に、ボランティアについてその紹介・募集・応募のためのツールにとどまらず、広場参加者による相互交流が可能な参加型・双方向性のある場、参加者による提案やその実現を目指すスタートの場を目指す。

以上のことを検討する上で、以下のような検討項目を設けた。

- 検討項目1 「参加者に魅力的な「ちばボラ広場」作りと運営について」
- 検討項目2 「様々なツールをどのように活用することで、参加型・双方向型の広場づくりに適したものとなるのか」
- 検討項目3 「参加者の安全・安心（個人情報の保護など）について」
- 検討項目4 「「ちばボラ広場」の設置主体・運営主体について」

検討の概要は以下のとおり。

- 各種調査によれば、10代の若者たちが最も多く使用しているSNSがLINEであることを踏まえ、ちばボラ広場では、当面、情報発信のツールとしてLINE公式アカウントの活用を進めることで若者たちが参加しやすくするべきである。
- LINE公式アカウントでは、コンテンツや投稿時の工夫のため、参加者の中からスタッフとして「管理者」を募り、様々な内容について投稿してもらうことなども検討すべきである。

- LINE公式アカウント自体は「交流」を目的とした活用はできないため、①別のLINEのアカウントを用意してグループをつくり交流すること、② LINE以外のツールを使用して交流の場を用意することなども検討をする必要がある。
- 双方向のコミュニケーションのためには、まずLINEでのグループ作りを行い、希望者がグループに参加しやすくしながら、専用のホームページ、掲示板の機能も持つツール（例えばSlack）や、Facebookなどの活用を進める方策を検討することが必要である。
- 「ちばボラ広場」での「安心・安全」の確保のため、①参加の呼びかけ対象を限定する方法、②広く告知をして参加者のアカウント内でのやり取りを管理者がチェックする方法、などが考えられる。なお、後者の場合には管理者がチェックを行う部門を確立し、併せてそれに必要な人員・人材の確保が必要となる。
- 運営主体（管理者側）に公的機関又は公的機関が関連する団体が関与することで参加者や保護者に一定の安心感を持ってもらう方策などについても検討の必要がある。
- 「ちばボラ広場」の目標を実現するのにふさわしい設置主体、運営体制として、様々な団体や主体を巻き込んだ「事業共同体（コンソーシアム）」の形とし、運営に必要な人材、スタッフ経費も含めた資金などを得られるようにすることで、持続可能な「広場」にできるものとする。
- 事業共同体の立上げには、公的機関のバックアップについても検討の必要がある。

4 フォーラム「みんなでつくるわたしたちのおもてなし」の開催

今年度、2020ばおもてなし隊が開催したイベントでは、中学生から大学生の年代の若い皆さんから2021年にやりたい“新しいおもてなし”について、素晴らしいアイデアを数多く提案された。

これらのアイデアを「提案」から「実現」へステップアップするため、オンラインのフォーラムを開催した。開催にあたって、千葉県にゆかりの外国人「チーバくんパートナー」の皆さんにも参加いただき、それぞれの国・地域の文化的背景なども踏まえた意見を頂くこととした。

ご参加いただいた「チーバくんパートナー」の皆様（敬称略）

	お名前	読み方	出身国
1	ALIMUJIANG AISHAN	ありむじゃん あさん	中国
2	邊 緯文	べん いぶん	台湾
3	TONG IRIS	とん あいりす	オーストラリア
4	孔 祥灝	こう しょうこう	中国
5	ALPIN SUTOPO	あるびん すとぽ	インドネシア
6	KHINE ZAR CHI THAINT	かじんぎー ちていん	ミャンマー
7	范 萱苒	はん けんい	台湾
8	PHUNG THI HAU	ふおん てい ほう	ベトナム
9	SIDDIQUI TANVIR BURNEY	しでいき たんぐいる ばるにー	パキスタン
10	洗 嘉欣	せん かきん	中国
11	上村 寿安 カルロス	うえむら じゅあん かるろす	ペルー

本事業実施のために、事前に次のようなことに取り組んだ。

(1) チーバくんパートナーとの事前打合せ

フォーラムに参加頂くチーバくんパートナーと主催者及び事務局担当者との顔合わせ及び打合せの機会を2回設けた。

III 事業実施結果

- 1回目 令和3年1月24日(日) 18時～
参加者 チーバくんパートナーの皆さん、主催者(千葉県)、運営担当(学生団体おりがみ、生涯学習応援団ちば)
内容 参加者の自己紹介及びフォーラムの概要(流れ)などについて説明
- 2回目 令和3年2月12日(金) 20時～
参加者 チーバくんパートナーの皆さん、主催者(千葉県)、フォーラムのスタッフ希望者、運営担当(学生団体おりがみ、生涯学習応援団ちば)
内容: グループディスカッションの進め方、スタッフの役割の確認及び役割分担の決定
* 2回目の開催時には、チーバくんパートナーと、参加者のうちスタッフ希望者の合同ミーティングとした。
- 3回目 令和3年2月18日(木) 13時半～(1、2回目欠席者向け)
参加者: チーバくんパートナーの皆さん、主催者(千葉県)
内容: これまでのミーティングの振り返り

(2) フォーラム参加者からのスタッフの募集と事前の打合せ

ワークショップと同様、フォーラムでも参加者の中からスタッフ希望者を募集し、12人の希望者があった。グループディスカッションでは、運営スタッフの役割が重要となることや、事前に直接会っての打合せができないことなどを踏まえ、希望者のニーズに応えることができるよう、数次にわたって打合せを開催した。

- 1回目ミーティング 令和3年2月12日(金) 20時～
参加者 チーバくんパートナーの皆さんとの合同打合せとして実施
内容 グループディスカッションの流れの説明およびスタッフの役割分担の決定。
- 2回目ミーティング 令和3年2月19日(金) 22時～
参加者 スタッフ希望者、学生団体おりがみ、生涯学習応援団ちば
内容 第1回目のミーティングを踏まえ、当日の詳細な流れを記載した資料に基づき、疑問点などについて意見交換をし、解決を図った。
- 3回目ミーティング 令和3年2月20日(土) 15時～
参加者 スタッフ希望者、学生団体おりがみ、生涯学習応援団ちば
内容 19日に参加できなかった希望者のため、19日と同じ内容で実施。
- 4回目ミーティング 令和3年2月21日(日) 12時～
参加者 スタッフ希望者、学生団体おりがみ、生涯学習応援団ちば
内容 直前のミーティングを開催し、疑問点や希望などについて意見交換を行う機会を設けた。
- Zoomを利用したミーティングのほかに、メールでのやり取りなどを通じて、スタッフ希望者のみなさんの疑問、希望などに答えられるようにした。

事業概要

【事業名】 フォーラム「みんなで作る『わたしたちのおもてなし』～withコロナのおもてなし」

【参加資格】 千葉県内の中学校から大学までの年代の皆さん
おもてなし活動に興味のある方

【実施方法】 オンラインで開催(Zoom)

【主なプログラム】

《おもてなし動画アワード2020 表彰式・作品紹介》

「おもてなし動画アワード2020」に応募のあった動画作品のうち、各賞を受賞した作品の表彰式・作

品紹介を行う。

《グループディスカッション》

テーマ やってみたいおもてなし・やってほしいおもてなし

今までのイベントでいただいた「おもてなしのアイデア」を題材に、グループに分かれ、「チーバくんパートナー」からおもてなしアイデアについて、その国の地域や文化的背景の視点から意見をもらい、それを踏まえて参加者がアイデアのブラッシュアップを行う。

開催日時

令和3年2月21日（日） 午後2時～

実施内容

進行：学生団体おりがみ

①Zoomの接続テスト

Zoomが初めてで、接続に不安がある方を対象に接続テストを実施

②開始前イベントとして動画の視聴

開会前の時間を利用して、参加者におもてなし動画アワード2020の部門（1）及び（2）の動画を一部抜粋して視聴してもらった。

③開会

主催者あいさつ 千葉県環境生活部 県民生活・文化課 副課長 今井 典史

ゲスト（審査員、チーバくんパートナー）紹介

④おもてなし動画アワード2020 表彰式

○受賞者紹介

部門（1）、部門（2）の各賞受賞者を紹介

○賞状授与

表彰式に出席した受賞者の賞状読上げ（終了後、受賞者には副賞と合わせて発送）

○審査員講評

表彰式に出席した審査員5人から、印象に残った作品、動画制作上心掛けたいこと、おもてなし動画アワード全体に対する感想などについてコメント。

○受賞作品紹介と製作者インタビュー

表彰式に参加した受賞者の作品を、参加者全体で視聴後、制作者に動画を作った時の気持ちや受賞しての感想などをインタビューした。

⑤グループディスカッション「やってみたいおもてなし・やってほしいおもてなし」

進行からグループディスカッションの進め方について説明後、Zoomのブレイクアウトルームの機能を活用し、全体が5つの班に分かれてディスカッションを開始。

ディスカッションでは、それぞれの班がワークショップのアイデア及びおもてなし動画アワードでグッドアイデア賞を受賞したアイデアの2つのアイデアについてテーマとして意見交換を行った。

各班では、以下のような流れでディスカッションを進めた。

○各班に参加している学生団体おりがみのメンバーが、アイデアについての概要を説明（ワークショップについては資料に基づき説明、動画アワードのアイデアについては動画を視聴）

○以後、スタッフ希望者の中で選ばれたファシリテーターが進行を担当。

自己紹介

検討対象のアイデアについてチーバくんパートナーからコメント

参加者が事前に考えてきた「良かった点」、「改善できるところ」などを発表し意見交換

最後に、記録担当（書記）の学生団体おりがみのメンバーが、ワークシートに沿って議論のまとめ

⑥まとめの会

参加者全体が集まったところで、各班の記録担当（書記）又はファシリテーターからグループディスカッションでの意見交換の結果を発表。

ディスカッションの結果については、資料26頁～35頁の「グループディスカッションのまとめ」に記載の通り。

終了後、2020ちばおもてなし隊企画運営委員会委員長でもある明石要一氏からの講評をもって、グループディスカッションは終了。

最後に、参加者全員で写真撮影を行った。

IV 2020ちばおもてなし隊ビルドアップステージの推進

本章は、本年度の事業実施に当たり、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を配慮し、実施方法を工夫した取組等をまとめたものです。

1 withコロナの時代のおもてなし活動

令和2年度の2020ちばおもてなし隊の活動は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が2度にわたり発せられるという事態の中で、これまでにない形での事業推進を行うこととなった。

不要不急の外出の自粛が求められ、また「密」を避けソーシャルディスタンスを確保するなどの必要があることから、従来のような形での打合せやイベントの開催について、発想の転換が求められた。

このような中で、事業推進のために、以下のような取組を進めた。

(1) オンラインによるイベント開催

令和2年度は、ワークショップ、おもてなし動画アワード（審査会を含む）及びフォーラムなどのイベントを開催したが、いずれもオンラインでの開催とした。

このために、主にZoomを利用する機会が多くなったが、Zoomの無料版では3人以上が参加する場合40分で終わってしまうなどの制約があるため、100人までの参加が可能で、24時間使用できる「プロ」というプランを契約し、各種イベントに対応できるようにした。

参加者の中には「Zoom」が未経験という方もいたので、学生団体おりがみが制作した「Zoomの使い方_おもてなし隊」という資料を提供し、参加をして頂いた。併せてイベント当日もZoomの接続テストの時間を設けるなどの対応をした。

イベント開催にあたっては、中学生、高校生が参加するイベントでは、意識調査などから土曜日よりも日曜日のほうが参加しやすい傾向があるため、ワークショップ2回のうち1回及びフォーラムはいずれも日曜日の午後開催とした。

(2) 打合せもオンラインで

イベントのオンライン化に並行して、関係者との打合せなどもオンライン（Zoom利用）及びメールによる打合せが多くなった。

特に大学生については、一時期、大学へ行くこともできず、ほとんど在宅でオンライン授業という状態であり、打合せもオンラインとメールがメインとなった。

また、学校関係者については、各学校での感染対策のこともあり、部外者が訪問することはできるだけ差し控える、ということからメールや書簡による打合せ、意見交換が中心となった。

2 広報について

イベントなどの告知、参加者募集などについては、従来からの学校などを通じての告知に加え、おもてなし隊広場を通じた告知、千葉県の実業である「都市ボランティア体験プログラム」への参加者を通じた告知、各自治体の市民活動支援センターなどを通じた告知などにより、多くの皆さんにお知らせすることができた。

イベントごとの広報については以下のとおりであった。

(1) おもてなし動画アワード2020

- チラシ（A 4）10,500枚、ポスター（A 3）2,300枚を印刷
- 高等学校、特別支援学校、市町村、同教育委員会、県内生涯学習施設、都市ボランティア体験プログラム参加者、千葉県子ども会育成連合会事務局などを通じて配布
- おもてなし動画アワード2020の作品募集時期に合わせて、新たに「2020ちばおもてなし隊」のホームページを開設し、告知を開始
- 千葉県のホームページなどでも紹介
- おもてなし隊広場を通じての募集を行い、併せて学生団体おりがみが制作したサンプル動画の配信を行う
- 千葉県高等学校文化連盟放送専門部会に作品募集の協力を要請
- 令和2年11月には、千葉県が「都市ボランティア体験プログラム」参加希望者を対象に「チームYELL」のメンバー募集を行い、その申込み方法としておもてなし動画アワードへの投稿の呼びかけを行う
- 県庁記者クラブを通じて、令和2年9月1日に報道機関各社に資料を提供

(2) オンラインワークショップ「わたしたちのおもてなし」

- チラシ（A 4）20,000枚、ポスター（A 3）2,000枚を印刷
- 高等学校、特別支援学校、大学、市町村、同教育委員会、県内生涯学習施設、都市ボランティア体験プログラム参加者などを通じて配布
- 「2020ちばおもてなし隊」のホームページ、おもてなし隊広場で告知
- おもてなし隊広場では、学生団体おりがみが制作した「企画案の作り方」の動画を配信し、参加へのモチベーションアップにつなげた
- 千葉県のホームページ、千葉県スポーツコンシェルジュ「メールマガジン」などでも紹介
- 県庁記者クラブを通じて、令和2年9月28日に報道機関各社に資料を提供

(3) フォーラム「みんなで作る『わたしたちのおもてなし』」

- チラシ（A 4）25,000枚、ポスター（A 2）2,300枚を印刷
- 高等学校、特別支援学校、大学、市町村、同教育委員会、ホストタウン商工関係団体、県内生涯学習施設、都市ボランティア体験プログラム参加者などを通じて配布
- 「2020ちばおもてなし隊」のホームページ、おもてなし隊広場で告知
- 千葉県のホームページ、千葉県スポーツコンシェルジュ「メールマガジン」などでも紹介
- 県庁記者クラブを通じて、令和3年1月15日に報道機関各社に資料を提供

V 活動の様子

1 おもてなし動画アワード2020 各賞受賞作品

応募部門(1)「わたしたちのおもてなしビジョン」



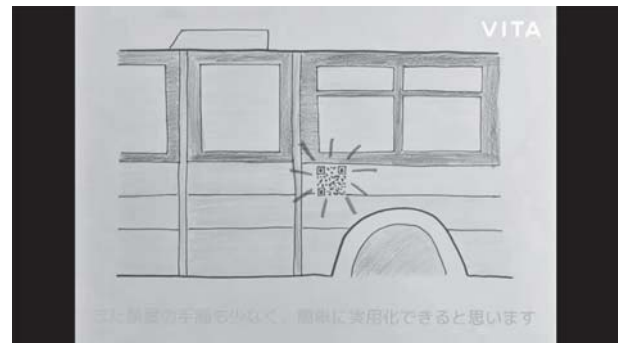
グッドアイデア賞
遠藤なゆさん



グッドアイデア賞
暁の星の皆さん



グッドアイデア賞
千葉県立船橋北高等学校家庭科部の皆さん



グッドアイデア賞
前島万葉さん



グッドアイデア賞
中島悠斗さん

応募部門(2)「わたしの好きなちばの自慢！」



今回は、山・海の幸に恵まれ 多彩な魅力に溢れた
千葉県 の 郷土料理 を 作って みました

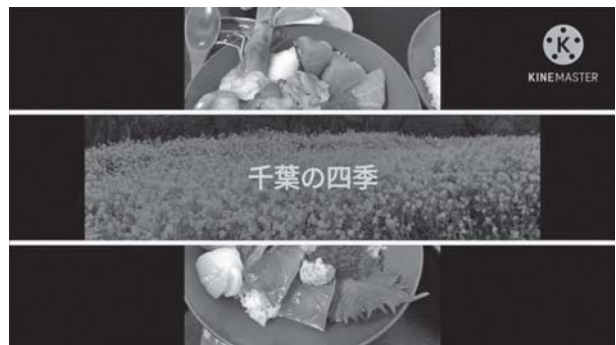
最優秀賞
佐藤初羽さん「千葉県の自慢」



審査員特別賞
千葉県立東金特別支援学校 中学部 2年3組
「選手の皆さんに千葉魅力を伝えよう」



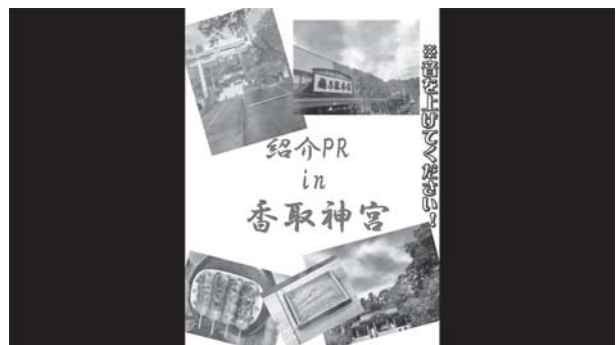
優秀作品賞
長谷川拓海さん「九十九里浜」



優秀作品賞
渡邊心斗さん「千葉県PV」



優秀作品賞
小口詩織さん「松戸の素晴らしき公園」



優秀作品賞
天才ぼくちゃん「PR in 香取神宮」



優秀作品賞
市原中央高等学校放送委員会「NEW CHIBA」

2 オンラインでワークショップ！「わたしたちのおもてなし」



ゴールボール女子日本代表選手からワークショップ参加者の皆さんにビデオメッセージをいただきました。ゴールボールは、パラリンピックの競技種目で、千葉県で開催されます。



ゴールボール女子日本代表選手にお礼と激励のメッセージを録画するフォーラム参加者の皆さん（11月14日）

3 フォーラム「～みんなでつくる『わたしたちのおもてなし』」



フォーラムの最後に、参加者全員で記念撮影（1）



フォーラムの最後に、参加者全員で記念撮影（2）



フォーラムの最後に、参加者全員で記念撮影（3）

VI 今年度事業を振り返って

特定非営利活動法人生涯学習応援団ちば理事長 明石要一

今年度の「2020ちばおもてなし隊」の活動は、多くの皆さんがコロナ禍で大変な思いをした中で、何とか一区切りがついたように思います。

今年度の「2020ちばおもてなし隊」の事業に参加していただいた皆さん、そしてご協力いただいた皆さんには心から感謝いたします。ありがとうございました。

本稿では、今年度の「おもてなし動画アワード2020」を振り返り、また、動画アワードやワークショップ、フォーラムで参加の皆さんが一つにキーワードにしていた「千葉の魅力」を考えてみました。

「おもてなし動画アワード2020」について

部門(1)の「わたしたちのおもてなしビジョン」では全部で11作品が集まった。部門(2)の「わたしの好きなちばの自慢」で13作品が集まった。当初新しい試みなので作品が集まるか懸念されたが、多くの作品が寄せられた。しかも内容はともにユニークで見ごたえのあるものばかりであった。

これらの作品の特徴をあげてみます。

1) 中学生が健闘した。

中学生の作品が結構あり、高校生や大学生と比べても遜色のないものであった。例えば、香取神宮の紹介PRは全体的にまとまって編集されていました。

2) 大人が気づかない切り口から迫っている。

九十九里浜を紹介した作品や松戸の素晴らしき公園の作品などは、「そうだったのか」という視点で作られています。

3) 特別支援学校の中等部の参加があった。

東京大会のオリパラでは、とりわけ千葉会場ではパラリンピックが注目を浴びています。お陰様で、東金の特別支援学校中等部2年3組の「選手の皆さんに千葉の魅力を伝えよう」が審査員特別賞を受けています。必死で千葉の良さを訴えている姿が高く評価されたのです。

「千葉の魅力について」

私なりに千葉の魅力を考えてみました。

1) 千葉県のラッキーナンバーは「6」

千葉の人口は約630万人です。全国で東京、大阪、愛知、神奈川、埼玉に次いで6番目に多いのです。千葉県の県民の日は6月15日です。街道も主だったものが6つあります。歴史に由来する御成街道、成田街道、木下街道、久留里街道、千葉街道、大網街道などがあります。国民体育大会の総合に順位は平均するとほぼ6位にきます。

2) 千葉県は「〇〇県」でしょうか?……「すし県」を目指す

千葉県は海に囲まれています。ほぼ六割近くが海に面しています。海の幸と山の幸が豊かです。二つの幸せをもたらす県です。新宿のアルタを知っていますか。アルタができる前は「ニコー(二幸)」というスーパーがありました。名前の由来は海の幸と山の幸を売っていたからです。

幸い、千葉のお米は「多古米」と「長狭米」があります。米所に負けないおいしさです。「ノリ」は金田と富津で取れます。寿司に欠かせないお醤油は野田のキッコーマン、銚子のヤマサ、ヒゲタがあります。そ

して、とっておきのネタは東京湾の魚から勝浦のカツオ、大原のイセエビ、銚子港のイワシとサバまで豊富です。

3) 外国の人が喜ぶ「房総うちわ」

今回の提案でも「扇子」が出されていた。千葉にこだわると扇子よりうちわではないでしょうか。房総うちわは今職人が少なく伝統の継承が難しくなっています。うちわは竹の骨と和紙があればワークショップで作成が可能です。外国の人と協働で作ることができます。

また、外国の方は書写が好きです。自分の名前を漢字に当てはめて毛筆で書くのを楽しみます。例えば、ジョージなら、「城寺」を当てることができます。この当て字でうちわを作ると大切にしてお土産として持って帰ります。

4) 千葉県は「共和国」になれるか？

国の成り立ちには何が必要でしょうか。

①食料が必要

千葉は農業県です。北海道、茨城、鹿児島に次いで農業生産額が4番目です。漁業も大丈夫です。630万人の食料は確保できそうです。

②エネルギー

産業を興すにはエネルギーは不可欠です。富津に東京電力があります。茂原には天然ガスがあります。大多喜ガス、京葉ガスもあります。銚子で風力発電も開発されそうです。

③教育

千葉県の四年制大学は30を超えます。短大も10校を超えます。高等教育は自前で可能です。江戸川を渡って東京の大学に通う必要はありません。

④娯楽・遊び場

浦安にディズニーランドがあります。船橋にアンデルセン公園があります。袖ヶ浦にドイツ村があります。佐倉にオランダ村があります。富津にマザー牧場があります。親子づれ、若者の遊び場は確保できます。

⑤防衛

木更津、館山、下総に自衛隊の基地があります。そして、習志野には最強の空挺団がいます。防衛は自営が可能です。

⑥貿易港

成田の国際空港があります。港は千葉港があります。千葉港は日本で二番目に荷揚げ量が多いのです。

⑦江戸川に税関を設ける

江戸川で関税をかける。紙幣はピーナツ入りを考える。

千葉は共和国になれるかという「問い」を発することで、千葉の魅力を掘り起こす、ことが大切ではないでしょうか。

千葉から全国、世界に情報を発信しましょう。

地震パンフレット



<p>目的地</p> <p>Destination 目的地 목적지</p> <p>📍 📍</p> <p>📍 📍</p>	<p>Your hotel 您的酒店 您的酒店 체류하는 동안 호텔 මම මෙහෙයවමි Khách sạn của bạn Hotel Anda</p> <p>🏨 🏨 🏨 🏨</p>	<p>警察 kei-satsu</p> <p>Police 警察 警察 경찰</p> <p>☎️ ☎️ ☎️ ☎️</p>	<p>バス basu</p> <p>Bus 公车 公車 버스</p> <p>🚌 🚌 🚌 🚌</p>
<p>目的地</p> <p>📍 📍</p> <p>📍 📍</p>	<p>🏨 🏨 🏨 🏨</p>	<p>☎️ ☎️ ☎️ ☎️</p>	<p>🚌 🚌 🚌 🚌</p>
<p>Station สถานี สถานี สถานี</p> <p>Station สถานี สถานี สถานี</p>	<p>Station สถานี สถานี สถานี</p> <p>Taxi 出租車 出租车 택시</p>	<p>Station สถานี สถานี สถานี</p> <p>Taxi 出租車 出租车 택시</p>	<p>Toilet トイレ トイレ トイレ</p> <p>Toilet 洗手间 洗手间 Toilet</p>

やさしい日本語でコミュニケーションシート



おもてなし隊広場募集パンフレット

VII 資料・参加者の声

資料1	オンラインでワークショップ「わたしたちのおもてなし」 各班から提案のあった5つのおもてなし案	24
資料2	フォーラム「みんなでつくる『わたしたちのおもてなし』」 グループディスカッション・班別討議のまとめ（ワークシート）	26
資料3	各種アンケート調査結果	
1	フォーラム「みんなでつくる『わたしたちのおもてなし』」（令和3年2月21日開催） 参加者アンケート結果	36
2	おもてなし隊広場アンケート（令和2年9月実施）集計結果（抜粋）	38
3	おもてなし隊広場参加者アンケート集計結果（令和3年2月28日現在）	39

資料1 オンラインでワークショップ「わたしたちのおもてなし」

各班から提案のあった5つのおもてなし案

11月8日開催分

おもてなしタイトル		オールスキルズマップ
1 班	内容説明	<p>○オンライン地図を作る。地図にはどの場所にどのくらい人がいるのかを色分けで表示できるようにする。</p> <p>【のせる内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機の場所 ・会場までの詳細な道（車いすでも通れるのか、ジャリ道なのかなどの情報入り） ・地元のお店 <p>○マップに載せた地元のお店や自動販売機に、地域の特色ある場所をのせた顔出しパネルやフレームが表示できるQRコードを設置し、写真が撮れるようにする</p>
	対 象	観光客、車いす利用などの障害のある方、地元の方々
	魅力・効果	<p>○ 密集度を表示することで、自販機や、会場周辺での密集を避けることができる</p> <p>○ 車いす利用の方々にとって、会場までの経路がわかり易くなる</p> <p>○ QRコードを利用して写真を撮ってポイントをためて地元の店でポイントが利用できる</p> <p>○ 地元の伝統を紹介するPR動画などを見ることができる</p> <p>○ 地元の老舗（しにせ・昔からながく続いて信用のあるお店のこと）を知ってもらえる</p>

おもてなしタイトル		選手に・観光客に・世界中に動画でおもてなし
2 班	内容説明	<p>①選手へは 選手への応援メッセージとして動画や、競技終了後の選手たちに「お疲れさまでした」という意味を込めた動画を作る</p> <p>②観光客、オンラインで動画を見てくれるの方々へは 千葉の魅力や文化について紹介したり、簡単な日本語についてのレクチャー動画を作る</p>
	対 象	選手、観光客、オンラインの動画を見てくれるすべての皆さん
	魅力・効果	選手や観光客その他の皆さんに、おもてなしの気持ちや千葉の魅力をオンラインで伝えられる

おもてなしタイトル		高校の日常生活を動画に！
3 班	内容説明	自分たちで、高校生活の一日を動画にして、世界の人々に見てもらう
	対 象	海外の留学生や、保護者の皆さん
	魅力・効果	<p>①日本に来る留学生が増えており、その留学生や親の方々に安心して日本への留学を目指したり、送り出してもらえる</p> <p>②コロナ対策として、日本の高校で実際に行っているコロナ対策を世界の人々に知ってもらうことで情報を共有し、世界中で協力してコロナに打ち勝つことができる</p>

11月14日開催分

おもてなしタイトル		J K (女子高校生) から学ぶ日本の文化
1 班	内容説明	①衣装付きで箸（はし）の使い方体験 体験で使う箸袋に、千葉の各地のマスコットキャラクターを印刷して渡す ②曲に合わせて和楽器体験 ③コスプレ体験 ④最後にプリクラで写真を撮り、お土産に持って行ってもらう
	対 象	海外からの選手の家族や観光客
	魅力・効果	新しい日本のイメージを発信する

おもてなしタイトル		思いをつなげる扇子（せんす）
2 班	内容説明	①和紙で作った扇子に、外国語で応援メッセージを筆で書いたり、47都道府県の特産品やマスコットキャラクターを載せたものを渡す。 ②扇子は、その使い方をいろいろな言語で書いた説明書をつけて、ボランティアなどに協力してもらい、直接渡す。 ③この説明書には小中学生に協力してもらい絵をかいてもらう。
	対 象	外国の人々
	魅力・効果	①扇子は持ち運びに便利で、特産品なども多く知ってもらえる ②withコロナを考え、扇子を使ってもらうことで、人々が涼しい場所に密集しにくくする ③直接渡すことでコミュニケーションの機会が生じ、特産品をたくさん載せるのでこの絵を見た人々がその場所に行きたくなる ④特産品を載せ、生産者の方々に応援できる

資料2 フォーラム「みんなでつくる『わたしたちのおもてなし』」

グループディスカッション・班別討議のまとめ（ワークシート）

【1班-①】

参加者	1班参加者 16人 (内訳) チーバくんパートナー 2人 高校生 7人 大学生 1人 成人等 4人 学生団体おりがみ 2人
企画名	オールスキルズマップ（ワークショップ提案アイデア）
概要	○オンライン地図を作る。地図にはどの場所にどのくらい人がいるのかを色分けで表示できるようにする。 【載せる内容】 ・自動販売機の場所 ・会場までの詳細な道（車いすでも通れるのか、ジャリ道なのかなどの情報入り） ・地元のお店 ○マップに載せた地元のお店や自動販売機に、地域の特色ある場所をのせた顔出しパネルやフレームが表示できるQRコードを設置し、写真が撮れるようにする。
良いところ	・バリアフリーへの配慮が素晴らしい。様々な人が使えるアイデアが素晴らしい。 ・コロナかで密を避けられる事。地元の老舗では特に地元の人と関われる。顔出しパネル等があると手軽に思い出が作れる。
改善できる ところ	・目が見えない方への配慮をすべきである。もっと様々な人が見える（理解出来る）ようなものが良いと感じる。 ・キャッシュレス化を多用させるべき（特に老舗の店舗）、外国人はキャッシュレスの方が多。 ・老舗の店舗は、「変化」に対応できてない可能性が高い。変化に対応するべき。 ・公共交通機関の情報を追加するべき（日本人でも分かりづらい）。バリアフリーにもきちんと対応した情報を載せる。 ・ターゲットの明確化。 ・QRコードの説明をきちんとつけるべき（QRコードがなんであるのかを理解していない外国人は多い）。 ・グーグルマップと結合することでより便利になるのではないか。 ・音声サービスをつける。
海外からの 視点	・どのぐらいの人がいるかというのを集計するのが難しい。車いすと、PR活動が素晴らしい。 ・自販機が母国に無い。好きな飲み物が買えるという情報を教えるべき。便利さを伝えるべき。車いすの方にはきちんと配慮をすべき事である。
追加したい アイデア	・目が見えない方にもわかるように点字を採用する。 ・老舗店舗にキャッシュレスの対応等の提案をする。 ・グーグルマップと対応させる。 ・宗教に配慮した内容を記載する（ハラール対応、お祈り場所等）。 ・公共交通機関の情報も載せるべき。 ・QRコードを知らない外国人も多いので説明をつける（多言語対応にする）。 ・音声サービスをつける。
そのほかの 意見	・パキстанはハラール料理を食べる為、配慮があると助かる。 ・ホテルなどでは礼拝は出来るが、知らない土地では、どこでやるかが問題となってくる。 ・食材やアルコールへの配慮はとても助かる項目である。

【1班-②】

企画名	船橋北高校家庭科部によるおもてなしの提案（動画アワード提案アイデア）
概要	チーバくんと鶴の折り紙をプレゼントし、手作りのポチ袋や太巻き寿司でおもてなしを表現
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・もので残る事で思い出に残る。実際に対面で行うことで印象に残る。 ・体験型はとて印象に残る。 ・チーバくんという事で千葉を発信できる。 ・太巻きを各地の料理とコラボさせることでより親しみやすくなる。
改善できる ところ	<ul style="list-style-type: none"> ・おりがみで折ったものを「栞」として活用できるようにする。箸置きなどでもいいかもしれない。 ・太巻きを作る際に、宗教上の配慮をするべき。アレルギー対応も出来たらいいかもしれない。 ・説明をする際に、外国の言葉（簡単なもの）はしっかりと覚えておくべき。英語だけでなく、多言語も取り入れる。 ・水引きに含まれている意味や、どのような用途で使われるかなどの豆知識を紙にまとめて渡してもいいかも。 ・おりがみの鶴に「サイン」「日付」等を書いておくと、相手は嬉しくなるかもしれない。 ・日本語のワンポイントレッスン等を行う。
海外からの 視点	<ul style="list-style-type: none"> ・見るよりも自分でやる事で印象に残る。 ・日本の古き良き文化を教えてもらえることは嬉しい。
追加したい アイデア	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼントとして渡すおりがみの鶴に「サイン」や「日付」を書いて世界に1つしかない特別なものとして思い出の品となる。 ・また、おりがみで「栞」「箸置き」等日常で使えるものを作成する。 ・太巻きを作る際には、宗教やアレルギーに配慮したものとする。 ・説明をする時に英語だけでなく、様々な言語を用いる。
そのほかの 意見	
メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしをする側が積極的にコミュニケーションをとっていき事が本当に「おもてなし」となる。 ・千葉の「盆踊り」「よさこい」等の体験イベントを広めていきたい。 ・グリーンツーリズムを広めていきたい。発信と推進を行っていきたい。米農家さんと体験イベントなど出来たら楽しそう。 ・外国の方向けのサイトをもっと多くの方に届けていきたい。

参加者	2班参加者 18人 (内訳) チーバくんパートナー 2人 中学生 4人 高校生 5人 大学生 1人 成人等 4人 学生団体おりがみ 2人
企画名	遠藤なゆさんによるおもてなしの提案(動画アワード提案アイデア)
概要	千葉の郷土料理太巻き祭り寿司でおもてなしをする、という提案で、太巻き祭り寿司でのおもてなしのメリットや具体的な方法などを表現
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・思い出に残る体験ができる ・動画そのものがお土産になる
改善できる ところ	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSで料理動画をupすれば、作る過程がわかりやすくなる ・動画には簡単な英語・中国語の字幕をつける
海外からの 視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ベジタリアンの方に向けて、何が入っているか表示する ・制作の過程が気になる ・お土産に持ち帰りやすい ・ものより経験を求めている
追加したい アイデア	<ul style="list-style-type: none"> ・海浜幕張イオンお惣菜として販売する ・材料、巻きすなどの用具、説明(QRコードから動画で作り方がわかる)も一緒に入ったキットとして商品化する→自宅で作れる、楽しめる
そのほかの 意見	

【2班-②】

企画名	選手に・観光客に・世界中に動画でおもてなし（ワークショップ提案アイデア）
概要	①選手へは 選手への応援メッセージとして動画や、競技終了後の選手たちに「お疲れさまでした」という意味を込めた動画を作る ②観光客、オンラインで動画を見てくれる方々へは 千葉の魅力や文化について紹介したり、簡単な日本語についてのレクチャー動画を作る
良いところ	・動画なのでコロナ禍でもたくさんの人に共有できる ・字幕などで多言語に対応できる
改善できる ところ	・どこで動画を公開するのかわからない →県庁や商業施設の前、千葉県のオリパラ会場で撮影、事前キャンプなど
海外からの 視点	・国によって普及しているSNSが異なる →発信したい国に向けて戦略を立てる
追加したい アイデア	・イオンモールには大きなモニターやスクリーンがあるのでそこで動画を流す、成田空港も候補 ・千葉の人にも知名度を上げる
そのほかの 意見	・丁寧なおもてなしはオーストラリア人には向いてない、気楽な友達になりたい雰囲気を出す
メモ	

【3班-①】

参加者	3班参加者 19人 (内訳) チーバくんパートナー 3人 中学生 2人 高校生 7人 大学生 2人 成人等 3人 学生団体おりがみ 2人
企画名	高校生の日常生活を動画に！(ワークショップ提案アイデア)
概要	自分たちで、高校生活の一日を動画にして、世界の人々に見てもらう
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の心配が多い中、コロナ対策の様子を発信できるのはとても良いことだ ・動画だと字幕をつけれるから見返しもできるし調べながらや会話が難しい人も理解できる
改善できる ところ	<ul style="list-style-type: none"> ・動画とるために設定した場でなく、休み時間の様子や、日本の学校行事の様子も取り込んだ動画にしたい ・お昼の様子を取り入れたい(お弁当比較や給食、購買、購買代わりに自販機など)
海外からの 視点	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の学校はとてもきれい！(海外では実は掃除週1とか？) ・給食は海外では珍しい！ ・先生も授業に遅れてくる ・食の違いは大きな違いだから食事について入れたらどうか ・たくさんの国の挨拶や国旗なども入れられたらよい
追加したい アイデア	<ul style="list-style-type: none"> ・通学中の様子も加えたい (電車に乗っている様子やコンビニによる様子、友達との登校姿など) ・楽しい高校生活のアピール、等身大で楽しんでいる様子を載せたい
そのほかの 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・日本にとっての当たり前を当たり前と思わず、感謝の気持ちを添えながら表せたら良いのではないか ・観光目線と、日本で実際に生活するのと一口に動画で発信といっても切り口がたくさんある

【3班-②】

企画名	「暁の星」の皆さんによるおもてなしの提案（動画アワード提案アイデア）
概要	アイデア案 自分たちで習った英語を使って、観光案内や配布物を渡しておもてなし
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの英語を使うという点がよい。机上の勉強だけでなく、実際にみにつく ・実際に物を持ち帰ることでそれ自体が日本にきた思い出の品となる
改善できる ところ	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットに載せるべき内容は精査して、分厚く、かつ内容が難しくならないようにすべきだ ・パンフレットにQRコードを貼り付けたり、YouTubeのリンクや英語で書かれたHPのリンクにアクセスできるようにしたらよい
海外からの 視点	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の敬語が難しくよくわからない ・民族衣装などを着ながら英語で話したら印象に残るのではないだろうか ・日頃の生活では見ている目線や日本人特有の謙遜などシャイな部分もあるかもしれないが、人から見てどうでもよさげなところも積極的にアピールしていったほうがよい
追加したい アイデア	<ul style="list-style-type: none"> ・渡すときに和柄の巾着でまとめて配るような形に出来たらよい ・英語とカタカナは似ているという意見があったから、そこに触れた物を作れたらいいのではないか
そのほかの 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・よく日本人は生きた英語を使えていないといわれるから、まずは簡単な英語や、世界の言語での挨拶を覚えていくなど、簡単な挑戦から始めていけたらよいのではないか

メモ	
----	--

参加者	4班参加者 18人 (内訳) チーバくんパートナー 2人 高校生 9人 大学生 1人 成人等 4人 学生団体おりがみ 2人
企画名	JK(女子高校生)から学ぶ日本の文化(ワークショップ提案アイデア)
概要	①衣装付きで箸(はし)の使い方体験 体験で使う箸袋に、千葉の各地のマスコットキャラクターを印刷して渡す ②曲に合わせて和楽器体験 ③コスプレ体験 ④最後にプリクラで写真を撮り、お土産に持って行ってもらう
良いところ	①衣装つきでの箸の使い方体験:主体的にできる ②おりがみ体験(和楽器体験は難しいため):持ち帰れる ③コスプレ体験:アニメなどは海外で人気なので興味持ってもらえそう ④プリクラ体験:女子高生の日常を体験できる
改善できる ところ	①について ・初めての外国人は使いにくい ・割り箸独特の「匂い」が嫌な人もいるかも ②について ・作り方を忘れたら持ち帰った後に作ることができない ④について ・ブースにプリクラ機を用意する費用と労力がかかる (和楽器体験について:用意が難しい、専門知識が必要)
海外からの 視点	①について ・箸の使い方がわからないので詳しい説明が必要 ・海外でも箸を使う国はあるが使い方の違いなど興味深い ・中国ではお弁当の文化がないので珍しい ③について ・コスプレだけでなく伝統的な衣装も着てみたい
追加したい アイデア	①について ・豆とこんにゃくを用意し、20秒間でいくつ掴めるかなどゲーム性を追加し駄菓子などの景品も用意する →主体的に取り組める、難しくても楽しめる ・箸袋には外国人の名前を平仮名で記載(千葉県のカラクターをつけるという案から変更) ②について ・紙飛行機を作り飛ばすゲーム ・また作ってもらう、思い出してもらうために作り方のレシピも持ち帰ってもらう ③について ・コスプレをするだけでなく、鑑賞もする ④について ・プリクラ機ではなくチェキやプリンターを利用して手軽に行う ・スマホで撮影するがプリクラのポーズを教える
そのほかの 意見	

【4班-②】

企画名	前島万葉さんによるおもてなしの提案（動画アワード提案アイデア）
概要	QRコードを使って様々な言語での交通案内をバスでも行おうという提案
良いところ	・英語だけでなく最大39言語で多くの人がわかる
改善できる ところ	・QRコードが何を示しているかの説明がないとわからない ・バス内だけではわかりにくい ・視覚障害者は使えない
海外からの 視点	・バスに乗るときバス停の場所について困ったり間違えることがあるのでQRコードがあると助かる ・バスの乗降場所がわかりにくいことが多い ・バス停の看板が読みにくい ・英語だけでなく多言語であるところが良い
追加したい アイデア	<p>【掲示する場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時刻表 ・バス車内の椅子の前（バス走行中でも見ることができる場所） ・時刻表 ・駅や他の交通機関（バスに乗る前にも見ることができる） <p>【読み取った後表示する内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付近のおすすめスポット ・時間を潰せる場所 ・音声案内（移動中ずっとスマホを見ることを避ける→危険防止、バス酔い防止） ・ルートを表示する ・→日本人でも使えるようにする（QRコードへの意識が変わる） <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QRコードの周りにQRコードが何を示すのか説明をつける ・視覚障害の方でも利用できるよう手で触ってQRコードの位置がわかるような工夫
そのほかの 意見	・アジア系の人が多いのでアジア系の言語での案内は必要
メモ	

【5班-①】

参加者	5班参加者 22人 (内訳) チーバくんパートナー 2人 中学生 5人 高校生 7人 大学生 1人 成人等 5人 学生団体おりがみ 2人
企画名	思いをつなげる扇子(ワークショップ提案アイデア)
概要	和紙で作った扇子に、外国語で応援メッセージを筆で書いたり、47都道府県の特産品やマスコットキャラクターをのせたものを渡す。 扇子は、その使い方をいろいろな言語で書いた説明書をつけて、ボランティアなどに協力してもらい、直接渡す。 この説明書には小中学生に協力してもらい絵をかいてもらう。
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化である扇子・和紙 ・手作り体験 ・イラストを書くこと
改善できる ところ	<ul style="list-style-type: none"> ・実用性には難あり?
海外からの 視点	<ul style="list-style-type: none"> ・文化、宗教によって色のイメージが違うから注意 ・他にも荷物があるので、ミニサイズのほうがいいのでは? ・イラストにアニメ要素があると嬉しい ・台湾では街で持ち歩いている人はいない。手持ち扇風機が多い
追加したい アイデア	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニサイズでつくる ・いろんな色を用意する ・イラストは外国の方も書けるようなブースを用意する
そのほかの 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクケースもいいのでは? ・扇子はたためるのでサイズは小さめではある

【5班-②】

企画名	中島悠斗さんによるおもてなしの提案（動画アワード提案アイデア）
概要	一目でわかる天気予報サポートシート
良いところ	・イラスト、色分けいい
改善できる ところ	・紙媒体の限界 ・漢字表記改善 ・主要都市以外の天気の計測の方法 ・季節ごとの特徴いれるといいのでは？（夏：熱中症・湿度高）
海外からの 視点	・その他の情報いれるべき(内容は「追加したいアイデア」に！)
追加したい アイデア	・アプリ・ウェブサイト化 ・天気の詳細情報（季節性の特徴、主要都市以外、摂氏・華氏） ・天気以外の情報付与（特産品、おすすめアプリまとめ） ・機能付与（漢字表記・言語）
そのほかの 意見	・アプリはURLをのせるなど、サイトからも接続できるといい ・他サイトまとめ

メモ	
----	--

資料3-1 フォーラム「みんなで作る『わたしたちのおもてなし』」（令和3年2月21日開催）

参加者アンケート結果

令和3年2月26日現在 回答総数 50名

あなたの年代を教えてください。		回答数	比率(%)
中学生の年代		8	16.0
高校生の年代		16	32.0
大学生の年代		11	22.0
大学生より上の年代		15	30.0
フォーラムに参加した目的についておしえてください。（複数回答可）		回答数	比率(%)
動画アワードの表彰式に出席のため		7	14.0
動画アワードの応募作品に興味があった		1	2.0
フォーラムで「おもてなし活動」のことを知りたかった		7	14.0
オリンピック・パラリンピックでおもてなし活動に参加したいから		14	28.0
フォーラムに参加する外国人や、様々な年代の人と交流をしたかった		18	36.0
その他		1	2.0
フォーラムに参加して全体的な感想はいかがでしたか。		回答数	比率(%)
満足		33	66.0
やや満足		15	30.0
どちらともいえない		2	4.0
やや不満		0	0.0
不満		0	0.0
おもてなし動画アワード2020の表彰式はいかがでしたか。		回答数	比率(%)
大変よかった		31	62.0
まあよかった		15	30.0
どちらともいえない		4	8.0
あまりよくなかった		0	0.0
全くよくなかった		0	0.0
グループディスカッションについてはいかがでしたか。		回答数	比率(%)
大変よかった		34	68.0
まあよかった		12	24.0
どちらともいえない		4	8.0
あまりよくなかった		0	0.0
全くよくなかった		0	0.0

おもてなし動画アワード2020の表彰式について「良かった点」、「悪かった点」、「こうしたらよかった」というご意見などがあればお願いします。

- ・素晴らしい完成度だったです！
- ・たくさんの素晴らしい観点から聞けるようになりました。ありがとうございました。
- ・表彰されなかった作品も観たい。
- ・作成者のお話を聞いたのが良かったです！
- ・コロナ禍での表彰式でしたがオンラインという形でも表彰式を行えた事が何より良かったのではないのかと思いました！表彰された皆さんおめでとうございます！
- ・オンラインの開催ながらも動画制作者のお話を聞くことができ、企画の面についての参考となりました。
- ・若い方のアイデアを事前キャンプ受け入れ自治体などに共有できると素晴らしいホストタウン運営につながると思います。
- ・受賞者全員のインタビューを最後までしっかりと聞きたかった
- ・初めてこの活動参加したのは、とても有意義と思います。
- ・高校生の母国への理解を高めるだけでなく、外国人の日本に対する理解も高めることもできます。
- ・表彰なので、具体的に”どの項目で”“どういう点数がついたのか”が知りたかったです。点数を明示しないせよ評価観点が明らかであるべきだと感じました。
- ・実際に賞状があってよかったと思います。表彰された方全員の意見が聞ければよかったと思います。
- ・コロナ時期で、こういう風にできるのは良かった。

グループディスカッションについて「良かった点」、「悪かった点」、「こうしたらよかった」というご意見などがあればお願いします。

- ・学生さんのファシリテーションの一生懸命さが良かった！
- ・いろんな人からの意見がたくさん聞けて楽しかったです。
- ・外国人の方も含めて様々な視点からの意見を知ることが出来た。
- ・発言しても他のメンバーがミュートになっているため、反応がなく、心細かった。次回は全員マイクをオンにしておき、相槌を打ってもらえるとより発言しやすい環境になると思った。
- ・話を聞いてメモを取ることは大切だと思いますが、それぞれの意見の要点をチャットに入れておくことで、後で整理し易くなるのではないかと思います。
- ・様々な年代の方そして外国の方と交流する事が出来てとても嬉しく思います。
- ・多国籍の方との触れあいは中々出来ないことなのでとても貴重な体験でした！
- ・1つのグループでの話し合いも良いですが、他のグループの方々の意見も直接聞きたかったです。
- ・面白かったです、皆さんとコミュニケーションできて、私の意見を採用することができてとても嬉しかったです。
- ・ファシリテーターの方が円滑に会議を進めてくださってとても良かった。（5班）外国の方の意見を聞きながら議論をできた点もよかったと思う。
- ・進行で大変でしたが、おりがみの皆さんがフォローしてくださったので助かりました。進行は初めてだったので、勉強になりました。皆さん意見を出して下さってよかったですが、自分から進んでというのが難しい方もいたので、その辺のやり方がうまくいけばよいなと思いました。時間が限られていたので、参加する方に分量(何分くらいなど)を説明しておいても良かったと思いました。たくさんのアイデアが出てとても良かったです。
- ・みなさんが積極的に意見を出していて、様々な話を聞くことができて良かったです。次に参加する機会があれば、自分の意見をもっと伝えたいと思います。ありがとうございました。
- ・チーバ君パートナーの外国人の方の率直な意見が聞けて勉強になりました。

資料3-2 おもてなし隊広場アンケート（令和2年9月実施）集計結果（抜粋）

令和2年9月30日現在 回答総数 22名

あなたがLINEのほかによく使う交流サイトや友だちとの連絡方法にはどんなものがありますか。		回答数	比率(%)
ツイッター		8	36.4
フェイスブック		0	0.0
インスタグラム		14	63.6
メール（ショートメッセージを含む）		7	31.8
その他		2	9.1
あなたがおもてなし隊広場に友だち追加（参加）した動機・理由などを教えてください。（複数回答可）		回答数	比率(%)
オリンピック・パラリンピックのボランティア情報を知りたかった		14	63.6
オリンピック・パラリンピックのボランティア活動・おもてなし活動に参加したかった		21	95.5
スタッフとしておもてなし隊の活動に参加したかった		9	40.9
いろいろな友だちや違う学校・年代の人と交流したり一緒に活動がしたかった		8	36.4
自分たちで考えたアイデアなどを実現したかった		2	9.1
友だちにさそわれた		1	4.5
先生にすすめられた		0	0.0
その他		1	4.5
おもてなし隊広場に友だち追加（参加）してみたの感想はどうでしたか？		回答数	比率(%)
とても満足している		6	27.3
まあまあ満足している		9	40.9
どちらともいえない		6	27.3
ちょっと不満だ		0	0.0
とても不満だ		1	4.5

参加しての感想を教えてください。（回答しなくても結構です）《抜粋》

- ・いろんなことが知れて楽しい。
- ・楽しい企画がたくさんあって楽しいし、オンラインミーティングにも参加することが出来た！
- ・zoomなどで行われるミーティングはネット環境がよくなくてはいけないし、参加がむずかしい
- ・身近な大学生の方々がメインとなって運営されており、親しみやすさを感じる。
- ・主体的で積極的な活動を頻繁に行っておられるため参加できる機会が多い。

*このアンケートは、主として広場参加者が利用する交流サイトの現状や、広場に参加した目的などを調査する目的で実施しました。

資料3-3 おもてなし隊広場参加者アンケート集計結果（令和3年2月28日現在）

令和3年2月28日現在 回答総数 165名

Q1 あなたの学校について教えてください。		回答数	比率(%)
高等学校		124	75.2
特別支援学校		1	0.6
中学校		30	18.2
専門学校		2	1.2
中高一貫校		1	0.6
大学		1	0.6
無回答		6	3.6
Q2 あなたの学校の所在地について教えてください。		回答数	比率(%)
葛南地域（市川、船橋、習志野、八千代、浦安）		35	21.2
東葛飾地域（松戸、野田、柏、流山、我孫子、鎌ヶ谷）		20	12.1
北総地域（銚子、成田、佐倉、旭、四街道、八街、印西、富里、匝瑳、印旛郡、香取郡）		23	13.9
東上総地域（茂原、東金、勝浦、山武、いすみ、大網白里、山武郡、長生郡、夷隅郡）		9	5.5
南房総地域（館山、木更津、市原、鴨川、君津、富津、袖ヶ浦、南房総、安房郡）		13	7.9
千葉市		61	37.0
無回答		4	2.4
Q3 あなたはボランティア活動に参加したことがありますか。		回答数	比率(%)
ある		80	48.5
ない		85	51.5
Q4 東京2020オリンピック・パラリンピックに興味がありますか。		回答数	比率(%)
興味がある		142	86.1
興味がない		6	3.6
どちらともいえない		17	10.3
Q5 あなたは2020ちばおもてなし隊について知っていましたか。		回答数	比率(%)
知っていた		64	38.8
知らなかった		101	61.2
Q6 オリンピック・パラリンピックのボランティア活動やおもてなし活動に参加したいですか。		回答数	比率(%)
参加したい		146	88.5
参加したくない		1	0.6
どちらともいえない		17	10.3

*このアンケートは、おもてなし隊広場に「友だち追加」をした時に、任意で学校種、地域、ボランティアやオリンピック・パラリンピックへの関心度を調査するために実施しています。

*令和3年2月末現在の友だち追加数は246人で、そのうち165人の方から回答を頂きました。

令和2年度次世代ボランティア人材育成事業
2020ちばおもてなし隊ビルドアップステージ
－中高生のボランティア活動を確かなレガシーに－

事業報告書

令和3年3月8日発行

千葉県

特定非営利活動法人生涯学習応援団ちば

令和2年度千葉県次世代ボランティア人材育成事業

2020ちばおもてなし隊.....オンラインでワークショップ!

わたしたちのおもてなし

新しい心の心をつなぐ

新時代のおもてなし

令和2年11月8日(日)18時～・11月14日(土)16時～

各回約90分間・定員40名(先着順).....ご参加をお待ちしています

あなたの+1は何ですか? モチベーションを高めたい、オンラインで活動したい、2021年に開催されるオリンピック・パラリンピックは、新しい生活様式・withコロナの中でおもてなしになります。海外からの選手・ゲストを迎えるのに、今まで以上に気を配らなければなりません。そこで、私達みんながオンラインで集い、2021年に行う「新しいおもてなし」が新しい価値イベントを実現するために、実践を目指していただくためのワークショップを開催します!

オリンピック・パラリンピックが1年延期になったことから、国内外からのゲストをより良い「おもてなし」で迎え入れるよう準備できるチャンスです。詳しくは、2020ちばおもてなしホームページやチラシをご覧ください。皆さんのご参加をお待ちしています!

当日の内容

- 学習体験お楽しみから「おもてなし」の意識方法をレクチャー!
- グループワークで、テーマごとに「おもてなし」を考えよう!
- ゲーム! withコロナでできる「新しいおもてなし」
- withコロナでできるオンライン・オフラインのおもてなしについて体験学習(発表)
- テーマごとに準備した人々を繋ぎあわせておもてなししよう!
- 2021年に開催されるオリンピック・パラリンピックの共通の準備や役割を体験しよう!
- ※. 参加費は無料です。お申し込みは先着順です。
- ※ワークショップで自己PRのチャンスは、2020ちばおもてなし隊が実施します。

2021年に開催されるオリンピック・パラリンピックで海外から集う人々に応じて...

withコロナでの「新しいおもてなし」
○ 多様な人々を思いとおもてなしを考えよう

参加資格 千葉県に在住 または在学する 本年度満13歳から22歳になる方

主催 千葉県 特定非営利活動法人生涯学習応援団ちば企業連盟 2020ちばおもてなし隊企画運営委員会

お問い合わせ 090-9205-3450(担当:高橋)

参加申込はこちら
 応募締切 10月25日(日)

令和2年度千葉県次世代ボランティア人材育成事業

フォーラム

みんなで作る

わたしたちのおもてなし

~withコロナのおもてなし~

おもてなしの心を もって て手とりあって な仲間をつくる し 新時代のおもてなし

おもてなし動画アワード 2020

グループディスカッション

年輩にゆかりのある外国の方々から聞く 伊ってみたいおもてなし・やってほしいおもてなし

「わたしたちのおもてなし」

表彰式・作品紹介

令和3年2月21日(日) 午後2時▶3時45分

オンライン開催 定員50名(先着順)

▼こんな方におすすめ!

- せっかくやってくるオリンピック・パラリンピックに向けて自分も関わってみたいというあなた...
- ホストタウンや事前キャンプ受入自治体など外国人選手との交流の練習機会として!
- withコロナでもできるオリンピック・パラリンピック推進校の取組メニューとして! etc...

参加申込はこちら
 応募締切 2月12日(金)

主催 千葉県 特定非営利活動法人 生涯学習応援団ちば企業連盟
 企画・運営・お問い合わせ 2020ちばおもてなし隊企画運営委員会
 Tel 090-9205-3450 (担当:高橋)
 E-mail 2020chiba.omotenashi@gmail.com